



舵輪

第158号
2019年夏発行

舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

3月～6月の行事結果

ベンディングセイル・宿泊研修

4月6日(土)・7日(日)、2019年度の総帆展帆に備え、ベンディングセイルを行いました。昨年は雹に打たれながらでしたが、今年は好天に恵まれ、無事に終わることができました。ベンディングセイルに合わせて宿泊研修も行われ、夜には海洋会富山支部長の山崎先生から海についてのお話をいただきました。



鯉のぼり掲揚式・花の迷路開園式

4月12日(金)、鯉のぼり掲揚式と花の迷路開園式が執り行われました。参列した射水市八幡幼稚園の児童が、海王丸乗組員とムズムズくんと一緒に鯉のぼりを引き上げ、開園した花の迷路を元気に駆け回りました。



新規養成訓練スタート

4月から海王丸展帆ボランティアの新規養成訓練がスタートしました。これまでに3回実施し、8名が新しくボランティアとして登録されました。さらに1名再訓練で復帰しました。

ちなみに5月の2回目の訓練から「令和」なので、胸名札が「R1 OO」となっています。

【1回目】 4月13日(土)・14日(日)



前列左から、深澤久利(ふかさわひさとし)さん、池端春菜(いけばたはるな)さん、島田好彦(しまだよしひこ)さん、新井芳江(あらいよしえ)さん、宮下一弥(みやしたかずや)さん(再訓練・No1001)、一井崇(いちいたかし)さん

【2回目】 5月18日(土)・19日(日)



前列左から、福島尚行(ふくしまなおゆき)さん、石田和夫(いしだかずお)さん(再訓練・No329)、北文子(きたふみこ)さん

【3回目】

6月1日(土)・2日(日)

杉本由紀(すぎもとゆき)さん
※登しょうできないため
デッキ作業のみ参加



総帆展帆通算250回達成！！

4月21日(日)、今年度最初であり、平成最後である総帆展帆で通算250回目の実施となりました。これもボランティアの皆様のご協力のたまものです。ありがとうございます！次回300回目指してこれからも頑張りましょう！

祝
250



ちびっ子天国



ゴールデンウィーク期間中の5月2日(木)～6日(月)、海王丸パークで「ちびっ子天国」を実施しました。パーク内では屋台が並んだり、フリーマーケットが開催されたりと大変賑わいました。海王丸では、縦帆を親子で開く「親子展帆体験」や海王丸周辺を漕いでまわる「カッター・セイリング教室」、さらに「満船飾・総帆展帆」など連日イベントが行われました。



【カッター・セイリング教室／親子展帆体験】



【多目的支援艦ひうち一般公開／はたらくクルマ大集合】

日台観光サミット in 富山

2008年から日本と台湾で交互に開催されている「日台観光サミット」が、今年は富山県で開催されました。5月23日(火)～26日(日)の4日間で富山県の各所を観光し、その一環で23日(火)に海王丸パークにも訪れました。



今後の予定(7月～9月)

海王丸パークフェスティバル		
7月13日 ～15日	14日	ミニ展帆・親子展帆体験
	15日	登しょう礼・総帆展帆⑤・満船飾 ボランティア海の日表彰
7月28日	総帆展帆⑥ 富山新港花火大会	
8月11日	ミニ展帆・親子展帆体験	
8月18日	ミニ展帆	
8月25日	総帆展帆⑦	
9月16日	ミニ展帆	
9月21日 ～23日	秋のファミリーフェスティバル	
	なごクルーズ・満船飾	
	総帆展帆⑧	

海王丸パークフェスティバル

7月13日(土)～15日(月・祝)、海の日に合わせて「海王丸パークフェスティバル」を実施します。「船の見学会」と称し、海王丸をはじめミサイル艇「はやぶさ」、巡視船「のりくら」、巡視艇「はまゆき」などたくさんの船の見学ができます。海王丸では「船長と記念撮影」や「親子展帆体験」等を実施します。(詳しくはホームページをご覧ください)

海の日である15日(月・祝)には、帆船における最高儀礼「登しょう礼」で海の日をお祝いし、総帆展帆と満船飾を実施します。また、ボランティアの展帆参加回数による「海の日表彰」も実施します。ぜひご参加ください。

<登しょう礼について>

登しょう礼を実施するにあたって練習を行います。登しょう礼参加希望者は、下記日程の練習日に参加してください。

7月6日(土) 13:00～15:30
(6日が雨天だった場合は7日(日))

※5月26日の練習に参加した方は、これに参加できなくても登しょう礼に参加できます。

<海の日表彰 対象の基準について>

賞	展帆ボランティア	甲板ボランティア
ゴールド	200回以上	1000時間以上
シルバー	150回以上	750時間以上
海王	100回以上	500時間以上
紺青	50回以上	250時間以上

※対象者には別途お知らせします。

着任の挨拶



常務理事（船長）
大藤 高広（おおふじ たかひろ）
皆様初めまして。

4月から斎藤重信キャプテンの後任として着任、伏木富山港・海王丸財団に勤務することとなりました、大藤高広です。

海王丸の現役時代から通しますと36代目の船長と言うことになります。この長い歴史を汚すことの無いよう安全第一で、ボランティアや財団職員の皆様と共に職務を遂行して参りたいと思います。前任者同様、宜しくお願い申し上げます。

出身は兵庫県の姫路で雪道を車で走った経験もなくドキドキいたしております一方、着任早々に見た立山連峰を初めとする美しい景色と新鮮で美味しい魚介類にワクワクもいたしております。

富山での生活を楽しみながらも事故の無い、明るく、楽しい職場をモットーに海事思想の普及とパークの魅力発信に精一杯努めて参る所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



事務局長
橋本 和範（はしもと かずのり）

この4月の異動により富山県から伏木富山港・海王丸財団へ派遣となり、事務局長を拝命いたしました橋本です。

3月までは教員委員会県立学校課で県立高校の再編統合に関わる仕事をしていました。着任してから、海王丸でも、海洋教室などを通じ、県や日本の未来を担う青少年の育成に力を注いでいることを改めて認識いたしました。

海王丸を含む海王丸パークは、富山県を代表する観光スポットの一つであると思います。去年は展望広場が新設され、今年は中央休憩所が改修されるなど、施設の充実を進めていただいておりますが、これに甘えることなく、人々に選ばれ、再び訪れられる観光地となるよう、努力してまいります。また、明るく、働きがいのある職場づくりにも努めていきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。



業務技師
今 義広（こん よしひろ）

三月末をもちまして海技教育機構を定年退職し、4月1日より海王丸財団でお世話になることとなりました今です。函館の出身で、慣れ親しんだ同じく雪国である富山で第二の人生を迎えることとなり、嬉しく思っております。内気で口下手

なところがありますが、富山の一員としてお力添えできるよう精一杯励んでいきますので、どうぞ宜しくお願いします。



技術員
尾形 章（おがた あきら）

4月1日付けで着任しました、尾形章です。よろしくお願いします。今回で3回目の富山勤務となり、5年ぶり久々の富山の生活で、前回同様、毎日楽しく生活させていただいています。海王丸の船体はかなり病んでいますが、見学に来て下さる人たちにきれいな海王丸を見てもらえるよう、精一杯整備していききたいと思います。



技術員
田原 真仁（たはら まこと）

4月から海王丸財団に勤務することとなりました田原です。出身は長崎県です。富山県は仕事で何度か来たことがありますが、魚介類などの食べ物がとても美味しく、とても自然豊かな町だと思いました。この町で人生初の一人暮らしをするのは不安もありますが楽しみな気持ちです。この陸上勤務では、仕事の知識や技術をしっかり身につけ、私生活でも充実した日々を過ごしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

退任の挨拶



常務理事（船長）
斎藤 重信（さいとう しげのぶ）

目にも鮮やかな新緑の季節、ボランティアの皆様、そして帆船海王丸ゆかりの皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、時代は「平成」から「令和」へ、先日には平成最後の総帆展帆が実施され、1990(平成2)年4月28日の第1回総帆展帆の実施以来、無事250回目を迎えられたとのこと、何よりのことと感じております。

さて私こと、この3月をもちまして(公財)伏木富山港・海王丸財団を退任いたしました。

2012(平成24)年4月の着任ですが、この7年間を振り返ってみますと、帆船海王丸の通算200回達成を含む57回の総帆展帆や154回の海洋教室、新湊大橋開通記念行事、15年振りの大規模修繕工事、海王丸パークの「恋人の聖地」認定、船上結婚式、全国豊かな海づくり大会、「世界で最も美しい湾クラブ」加盟、海王丸ライトアップ、海王丸W展帆・トリプル公開、4年連続のタモリカップ、富山湾岸サイクリング、富山マラソン、ふね遺産認定、帆船海王丸乗船200万人達成、そして毎年の海の日、新湊花火大会、ボランティアの集い、餅つき大会、進水記念日等々、海王丸財団での勤務は年々新たな驚きや感動があり、大きなトラブルもなく良い経験が蓄積された充実した歳月を過ごすことができ、船長として大きな誇りでもあり、大変貴重なものとなりました。

それも、素直で明るい海洋教室の子どもたちや、常に前向きで明るく人間性豊かな多くのボランティアの皆様に囲まれ、富山県、射水市の皆様など地域の方々から温かいご支援をいただいたことや、使命感に溢れた財団職員や海王丸乗組員と出会うことができたお陰と心より感謝して

おります。

このたび着任された後任の大藤高広船長は、かつて一緒に仕事をした時期も多くご縁を感じておりますが、大変有能で、お人柄もすばらしく、豊富な経験と高い見識をお持ちであり、心強く感じております。私同様よろしくお願い申し上げます。また、今後は総帆展帆 300 回に向けて、皆様のさらなるご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、皆様方の益々のご健勝とご多幸、そして帆船海王丸の発展をご祈念申し上げ、御礼と退任のご挨拶とさせていただきます。7 年間本当にありがとうございました。



事務局長

蟹谷 康弘（かにたに やすひろ）

このたび、公益財団法人伏木富山港・海王丸財団を離れることになりました前事務局長の蟹谷です。平成 28 年 4 月から 3 年間、柳野会長さんはじめ財団の皆様には大変お世話になりました。

振り返れば、タモリカップや富山新港開港 50 周年記念事業、展望広場の供用開始、海王丸の「ふね遺産」認定、海王丸への乗船者数の 200 万人達成、新湊マリーナの整備拡張など財団にとって重要な時期に在籍させていただきましたことは、大変光栄なことだと思っております。また、幸せのベル結婚式や恋人フェスティバルの実施、「帆船海王丸物語」の制作などこれまで経験することのできない貴重な体験もさせていただきました。これらは私の生涯に残る素晴らしい宝です。そして、何といっても海越しに見える立山連峰と富山湾を背景に帆船海王丸と新湊大橋が並び立つ絶景は本当に素晴らしいものです。特に帆船海王丸の歴史的文化的な価値を改めて認識できたことは、本当に幸せでした。今後とも、海王丸パークが貴重な財産である帆船海王丸を活かしつつ、末永く一人でも多くの人に愛される施設となりますよう願ってやみません。海王丸財団の益々のご発展と財団の皆様、ボランティアの皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



技術員

上城 修（かみしろ おさむ）

三月末をもって当財団を退任し、練習船に復帰することとなりました。2 年間、財団関係者やボランティアの皆様には大変お世話になりました。富山の美味しい水、米、酒、魚、そしてあたたかい人たちのおかげで非常に充実した時を過ごすことができました。

4 月からは休暇を経て海上勤務へ戻ります。皆様のご健勝と海王丸の益々の発展を洋上より祈念しております。ありがとうございました。



技術員

竹越 健一（たけこし けんいち）

この度、2 年の任期を終え退任することとなりました竹越健一です。振り返るとこの 2 年あっという間で、公私ともに本当に有意義な時間となりました。それはひとえにボランティアの皆様や富山の方々、海王丸財団関係者の皆様の暖かさのおかげです。この 2 年間、海洋教室で子供たちと接して学んだことや、タモリカップなどたくさんさんのイベントを通じ色々な経験ができたことも自分にとって一歩成長できた、かけがえのない経験でした。

「海の貴婦人 海王丸」の益々のご健勝とご多幸を祈りながら退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



技術員

田中 慧（たなか さとる）

この 3 月で財団での勤務を終え、海上勤務に戻ることとなりました。財団勤務の 2 年間は今まで経験したことのない仕事が多く、はじめは戸惑いましたが、海事課の先輩や財団の方々の支えもあって、無事にここでの生活を終えることができ感謝しております。今後も練習船で富山へ入港したときはよろしくお願いします。2 年間、ありがとうございました。

ボランティア掲示番

万葉集朗唱へのお誘い

ボランティア No.57 谷岸 清士

令和元年、新元号で万葉集への関心も高まるこの頃ですが、高岡市の《万葉集朗唱の会》が 10 月 4 日（金）～6 日（日）と、高岡古城公園で古式ゆかしく開催されます。市への申込日が 7 月 8 日に決まりました。参加ご希望の方は、7 月 6 日か 7 日の登しょう礼練習日にご提出ください。当日欠席の場合は 7 月 7 日までに、谷岸にお電話ください。

<予定> ※雨天決行

10 月 5 日（土）18：30

集合、着替え

（受付テント前）

19：00 頃 朗唱開始

20：00 頃 終了

No.57 谷岸清士 090-3763-2134

舵輪 第158号

発行日 2019年 6月

E-mail

by-the-wind@

kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

〒934-0023 富山県射水市海王町8番地

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

URL <http://www.kaiwomaru.jp>